

# 2023年度第1四半期決算の概要及び 2023年度業績予想の概要

三井化学株式会社

本資料の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

2023年8月4日

# 目次

1. 2023年度第1四半期決算の概要	
1) 主要関連市場動向	…1
2) 主な投資案件等の状況	…2
3) 決算の概要	…3-4
4) セグメント別 売上収益/コア営業利益増減（対前年決算）	…5
5) セグメント別 コア営業利益増減/事業動向	…6-9
6) 非経常項目の内訳	…10
7) 財政状態計算書	…11
8) キャッシュ・フロー計算書	…12
2. 2023年度業績予想の概要	
1) 業績予想の概要	…13-15
2) セグメント別 コア営業利益増減/事業動向（対前年決算）	…16-19
3) セグメント別 コア営業利益増減（1Q→2Q増減）	…20
4) セグメント別 コア営業利益増減（上期→下期増減）	…21
5) キャッシュ・フロー計算書の予想	…22
3. 補助資料	…23-30

# 1. 2023年度第1四半期決算の概要

---

# 1) 主要関連市場動向

関連市場		23年度				23年度予想 (対前回予想)						
		1Q	2Q	下期	上期→ 下期							
ライフ& ヘルスケア・ ソリューション	メガネレンズ市場	引き続き堅調に推移 (一部在庫調整の動きあり)	引き続き堅調に推移 (在庫調整解消の動き)	引き続き堅調に推移 (在庫調整解消の動き)		堅調に推移も 1Q在庫調整						
	農薬市場	引き続き堅調に推移	引き続き堅調に推移	引き続き堅調に推移		変化なし						
モビリティ ソリューション	自動車生産台数(世界) *											
	日本 北米 中国 ASEAN 欧州	グローバルに回復	グローバルに回復	グローバルに回復 北米での利上げによる影響懸念	    	地域毎の増減はあるも、 グローバルな 生産台数は変化なし。     						
							半導体市場	需要減継続	需要減継続	下期から緩やかに回復を見込む		下落
							スマートフォン市場	需要減継続	需要減継続	需要減継続		下落
							市況 TDI	TDIの市況は低水準	TDIの市況は低水準	TDIの市況は低水準		変化なし
市況 MDI	市況は安定的に推移	市況は安定的に推移	市況は安定的に推移		変化なし							
ベーシック& グリーン・ マテリアルズ	クラッカー稼働率	低稼働	低稼働	下期から稼働率改善		上期想定より低稼働						

\* 外部機関参考による当社推定値

## 2) 主な投資案件等の状況

主な投資案件		時期	能力	FY21	FY22	FY23	FY24以降
ライフ & ヘルスケア・ソリューション	整形外科領域 日本エム・ディ・エム資本・業務提携	22年1月	-				
	農業事業買収	22年1月	-				
	メガネレンズ加工機メーカー買収	22年11月	-				
	不織布事業JV設立@Japan	23年10月	-				
	メガネレンズモノマー能力増強@Japan	23年10月	-				
モビリティソリューション	タフマー®新設@Singapore	24年度	120KT				
	EUVベリクル新設備@Japan	21年4月	-				
ICTソリューション	アベル®新プラント@Japan	22年6月	+50%				
	ベリクル事業買収	23年7月	-				
	イクロステープ™能力増強@Taiwan	23年10月	380万㎡				
	三井化学東セロの株式分割及び一部株式譲渡	24年4月					
	本州化学工業 連結子会社化	21年10月	-				
ベーシック & グリーン・マテリアルズ	錦湖三井化学 MDI能力増強@Korea	24年7月	200KT				
	高機能PP新設備@Japan	24年11月	200KT				
	バイオマス原料調達拡大に向けた出資	22年6月	-				
	PPG生産におけるLLP設立	23年5月	-				
新事業・新製品	CVC設立	22年7月	-				
最適化・再構築	高純度テレフタル酸(PTA)生産停止@Japan	23年8月	400KT			生産停止	
	フェノール子会社株式譲渡@Singapore	23年3月	-		株式譲渡		
	TDI生産能力最適化@Japan	25年7月	120KT→50KT				生産能力最適化

23年度 商業運転開始プラント等

23年度 意思決定案件等

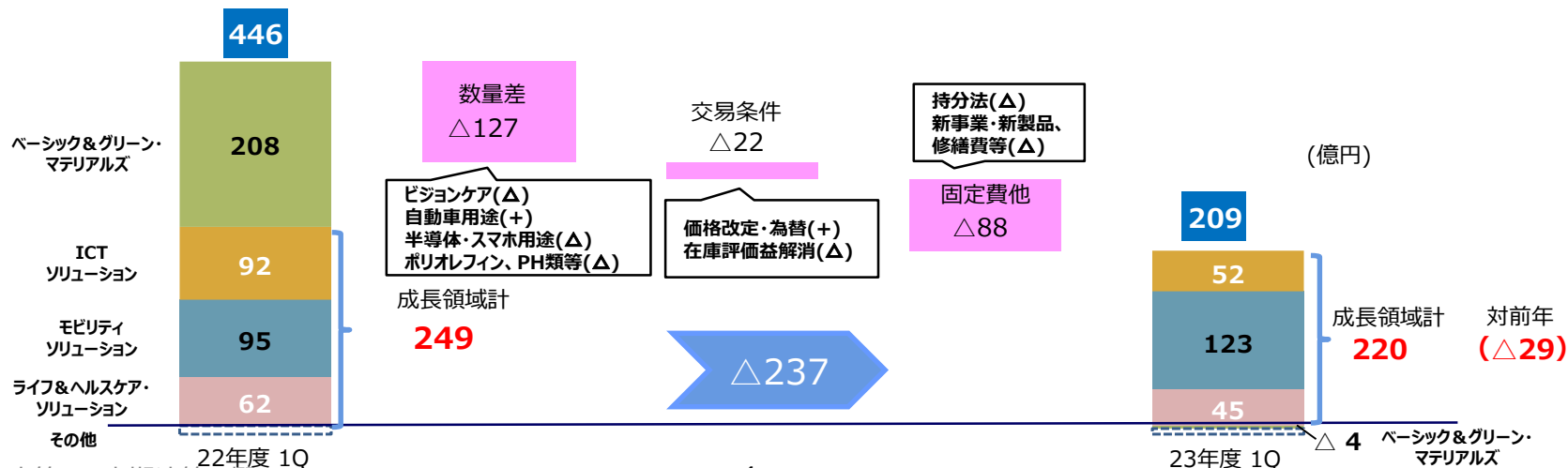
### 3-1) 決算の概要

(単位：億円)

摘 要	22年度 4-6月決算	23年度 4-6月決算	増減	増減率
売上収益	4,761	4,079	△ 682	△14%
コア営業利益	446	209	△ 237	△53%
(うち、持分法による投資損益)	90	32	△ 58	△64%
非経常項目	△ 17	△ 70	△ 53	-
営業利益	429	139	△ 290	△68%
金融収益・費用	△ 21	3	24	-
税引前四半期利益	408	142	△ 266	△65%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	280	96	△ 184	△66%
為替レート(円/US\$)	130	137	+ 7	
国産ナフサ(円/KL)	86,100	67,500	△ 18,600	

## 3-2) 決算の概要 (コア営業利益)

項目	内容	損益増減
数量	・ビジョンケアは一部在庫調整の影響により販売数量は減少。	(△)
	・自動車用途関連は自動車生産台数の回復に伴い販売数量は増加。	(+)
	・半導体関連は半導体、スマートフォン市場の需要鈍化により販売数量は減少。	(△)
	・ポリオレフィン及びフェノール類を中心に需要減により販売数量は減少。	(△)
交易条件	・価格改定及び円安影響により交易条件改善。	(+)
	・22年度1Qの原料価格上昇に伴う在庫評価益の解消	(△)
固定費他	・資材費高騰による修繕費及び新事業・新製品開発等の資源投入によるコスト増加。	(△)
	・持分法投資損益の悪化。	(△)







## 4) セグメント別 売上収益/コア営業利益増減 (対前年決算)

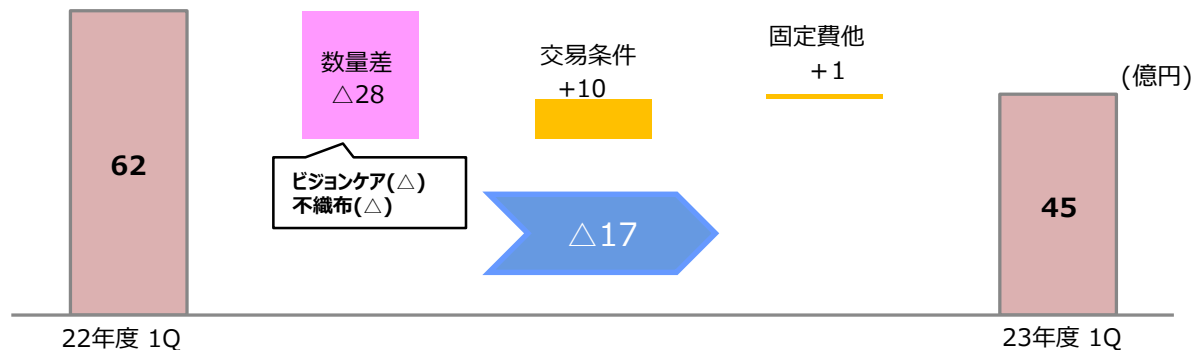
(単位：億円)

セグメント	売上収益			コア営業利益			増減内訳		
	22年度 4-6月決算	23年度 4-6月決算	増減	22年度 4-6月決算	23年度 4-6月決算	増減	数量差	交易条件	固定費他
ライフ & ヘルスケア・ ソリューション	587	571	△ 16	62	45	△ 17	△ 28	10	1
モビリティ ソリューション	1,206	1,274	68	95	123	28	9	35	△ 16
ICT ソリューション	592	569	△ 23	92	52	△ 40	△ 40	20	△ 20
ベーシック & グリーン・ マテリアルズ	2,343	1,627	△ 716	208	△ 4	△ 212	△ 68	△ 87	△ 57
そ の 他	33	38	5	△ 11	△ 7	4	-	-	4
合 計	4,761	4,079	△ 682	446	209	△ 237	△ 127	△ 22	△ 88
成 長 領 域 *	2,385	2,414	29	249	220	△ 29			

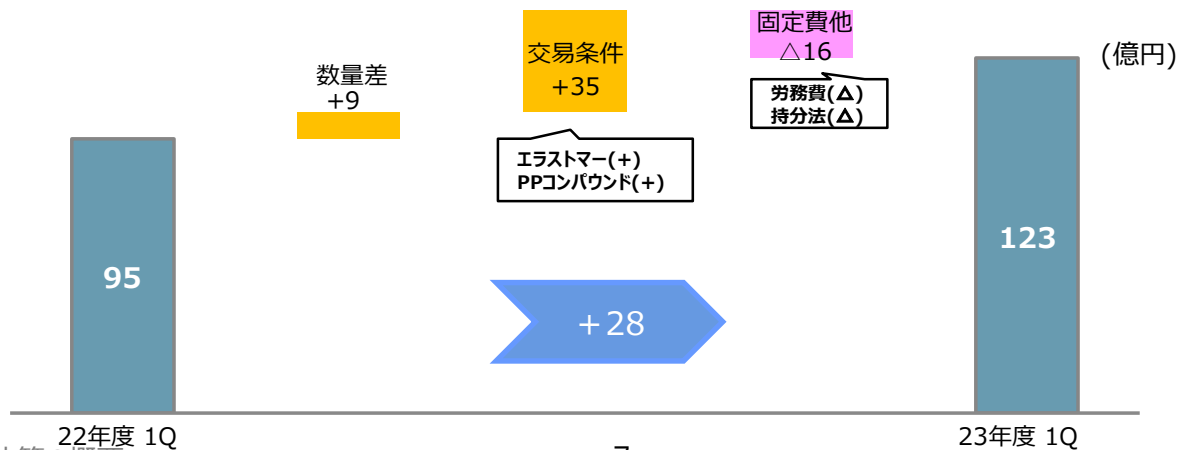
\*ライフ&amp;ヘルスケア、モビリティ、ICT



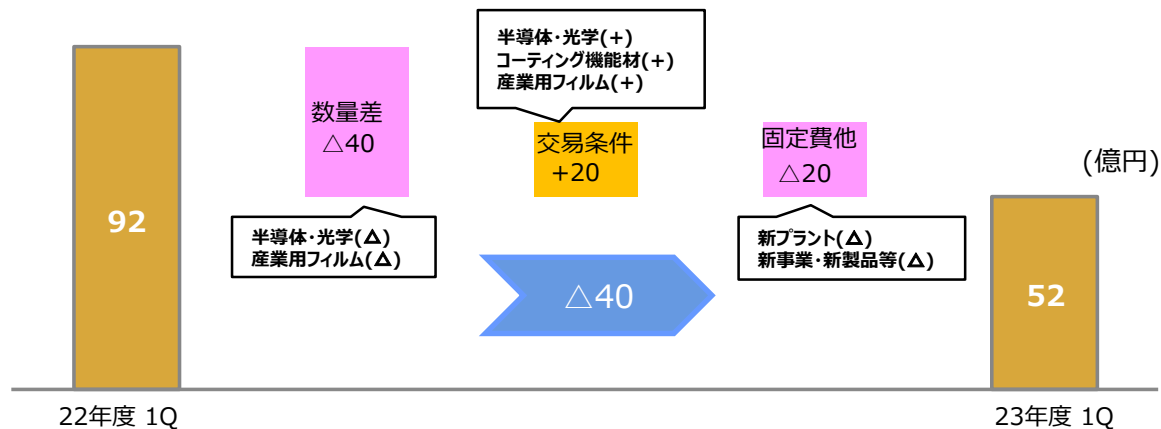
	23年度1Q決算/事業動向	主要増減要因
ビジョンケア	 <ul style="list-style-type: none"> <li>一部在庫調整の影響により販売は減少</li> <li>22年度値上げによる交易改善</li> </ul>	数量(△) 交易条件(+)
不織布	 <ul style="list-style-type: none"> <li>需要減少に伴い販売数量は減少</li> <li>価格改定に伴う交易改善</li> </ul>	数量(△) 交易条件(+)
オーラルケア	 <ul style="list-style-type: none"> <li>販売は前年並みに推移</li> </ul>	-
農薬	 <ul style="list-style-type: none"> <li>販売は前年並みに推移</li> </ul>	-



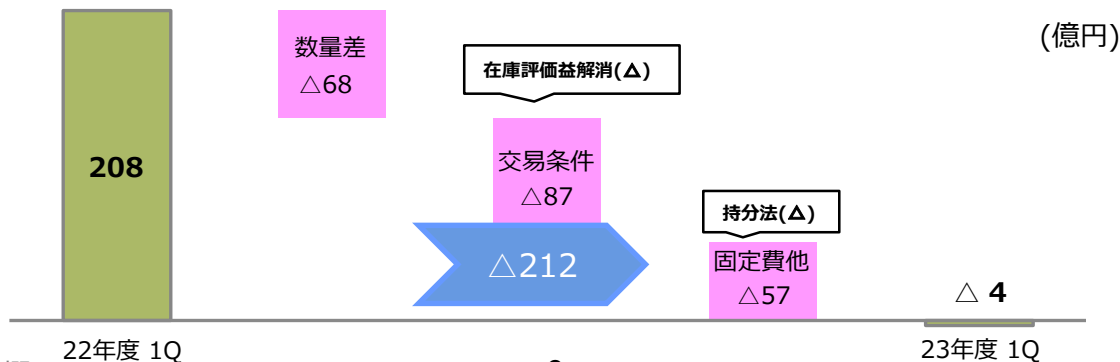
	23年度1Q決算/事業動向	主要増減要因
エラストマー	<ul style="list-style-type: none"> <li>太陽電池封止材の販売は堅調に推移</li> <li>価格改定及び為替差、高付加価値品へのシフトによる交易改善</li> </ul>	交易条件(+) 持分法(Δ)
複合材料 (PPコンパウンド 機能性コンパウンド)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車用途関連は回復</li> <li>為替差による交易改善</li> </ul>	数量(+) 交易条件(+) 固定費(Δ)
ソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車市場回復に伴う試作及び開発案件の受注が増加</li> </ul>	数量(+) 固定費(Δ)



	23年度1Q決算/事業動向	主要増減要因
半導体・光学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EUVペリクルの販売は堅調に推移するも、半導体及びスマートフォン市場需要鈍化の影響を受け販売は減少</li> <li>・為替差により交易条件改善</li> <li>・アペル<sup>®</sup>新プラント稼働による固定費増、開発費用増加等</li> </ul>	数量(Δ) 交易条件(+) 固定費(Δ)
コーティング機能材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売は堅調に推移</li> <li>・原料価格下落に伴い交易条件改善</li> </ul>	数量(+) 交易条件(+) 固定費(Δ)
産業用フィルム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・半導体需要鈍化により販売は減少</li> <li>・為替差による交易条件改善</li> </ul>	数量(Δ) 交易条件(+) 固定費(Δ)



	23年度1Q決算/事業動向	主要増減要因
石化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・需要減により販売は減少</li> <li>・値上げによる交易改善はあるも、 22年度1Qの原料価格上昇に伴う在庫評価益の解消</li> </ul>	数量(Δ) 在庫(Δ) 固定費(Δ)
基礎化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・需要減により販売は減少</li> <li>・持分法投資損益の減少</li> </ul>	数量(Δ) 在庫(Δ) 持分法(Δ)
ウレタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持分法投資損益の減少</li> </ul>	持分法(Δ)



(単位：億円)

摘 要	22年度 4-6月決算	23年度 4-6月決算	増減
固定資産処分・売却損益	△ 2	0	2
減 損 損 失	△ 16	△ 92	△ 76
そ の 他	1	22	21
非経常項目 合計	△ 17	△ 70	△ 53

# 7) 財政状態計算書

(単位：億円)

摘 要	23年3月末	23年6月末	増減	摘 要	23年3月末	23年6月末	増減
流動資産	( 10,943 )	( 10,789 )	( △ 154 )	負債	( 11,849 )	( 11,552 )	( △ 297 )
現金及び 現金同等物	1,863	1,690	△ 173	営業債務	1,643	1,377	△ 266
営業債権	3,522	3,189	△ 333	有利子負債	7,947	7,881	△ 66
棚卸資産	4,419	4,491	72	その他	2,259	2,294	35
その他	1,139	1,419	280	資本	( 8,833 )	( 9,076 )	( 243 )
非流動資産	( 9,739 )	( 9,839 )	( 100 )	親会社の所有者に 帰属する持分	7,868	8,093	225
有形固定資産及び 使用権資産	6,009	5,989	△ 20	非支配持分	965	983	18
のれん及び 無形資産	675	696	21				
非流動の その他の資産	3,055	3,154	99				
合 計	20,682	20,628	△ 54	合 計	20,682	20,628	△ 54

## 8) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘 要	22年度 4-6月決算	23年度 4-6月決算	増減
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	△ 106	△ 117	△ 11
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 333	99	432
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	△ 439	△ 18	421
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	444	△ 230	△ 674
IV. その他	92	75	△ 17
現預金等増減	97	△ 173	△ 270

## 2. 2023年度業績予想の概要

---

22年度よりセグメントを変更しております。  
新セグメントに基づく21年度以前の決算値は、22年度以降のセグメント比較を目的に  
作成した概算値です。



# 1 - 1) 業績予想の概要

(単位：億円)

摘要	22年度決算		23年度予想		増減		23年度前回予想 (23.5.12発表)
	4-9月	年度(a)	4-9月	年度(b)	年度 (b)-(a)	%	
売上収益	9,511	18,795	8,700	18,500	△ 295	△2%	19,000
コア営業利益	776	1,139	460	1,250	111	10%	1,500
非経常項目	△ 51	151	△ 100	△ 100	△ 251	—	△ 50
営業利益	725	1,290	360	1,150	△ 140	△11%	1,450
金融収益・費用	△ 18	△ 117	△ 10	△ 30	87	—	△ 50
税引前利益	707	1,173	350	1,120	△ 53	△5%	1,400
親会社の所有者に帰属する 当期利益	444	829	230	840	11	1%	1,000
為替レート(円/US\$)	134	135	139	139	+ 4		135
国産ナフサ(円/KL)	83,750	76,600	65,750	69,000	△ 7,600		72,000
配当	中間	期末	中間	期末	中間増減	期末増減	通期
	60 円/株	60 円/株	70 円/株	70 円/株	+10円/株	+10円/株	通期 140 円/株
通期 120 円/株		通期 140 円/株		通期 +20円/株			

# 1 - 2) 業績予想の概要 セグメント別 コア営業利益増減 (対前回予想)

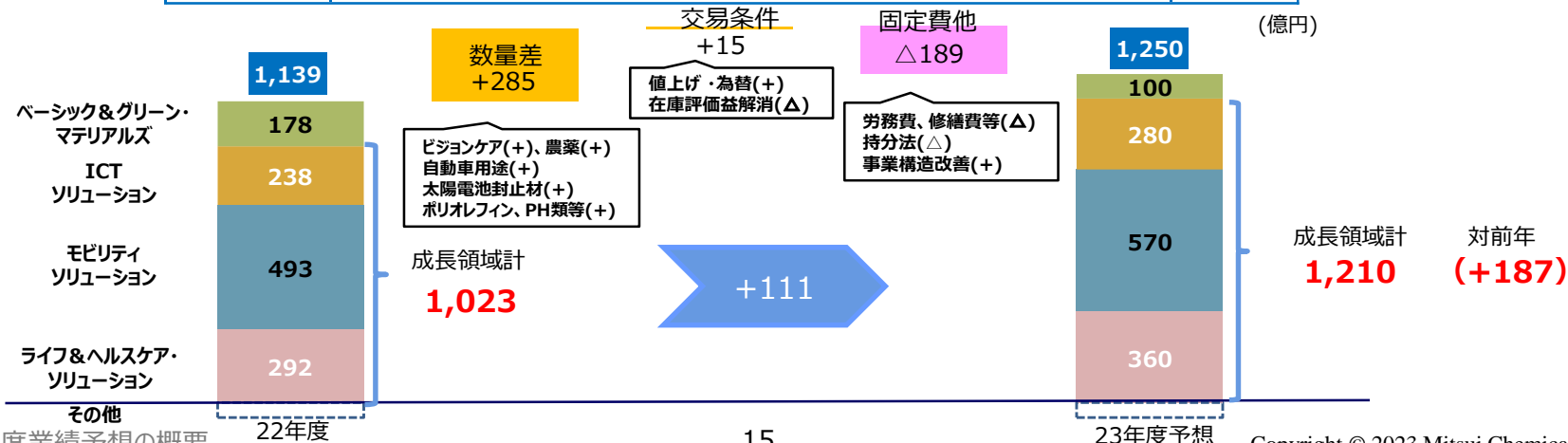
(単位：億円)

セグメント	23年度 コア営業利益			主要増減要因
	年度 前回予想 (23.5.12発表)	年度 今回予想	増減	
ライフ & ヘルスケア・ ソリューション	340	360	20	ビジョンケア数量(△)、 為替(+)、固定費(+)
モビリティ ソリューション	540	570	30	一部需要回復遅れに伴う数量(△) 交易条件(+)、為替(+)
ICT ソリューション	330	280	△ 50	半導体・スマホ需要鈍化継続に伴う数量(△) 固定費(+)
ベーシック & グリーン・ マテリアルズ	350	100	△ 250	需要回復遅れに伴う数量(△) 在庫、低稼働等による交易(△)、持分法(△)
その他	△ 60	△ 60	0	
合計	1,500	1,250	△ 250	
成長領域*	1,210	1,210	0	

\*ライフ & ヘルスケア、モビリティ、ICT

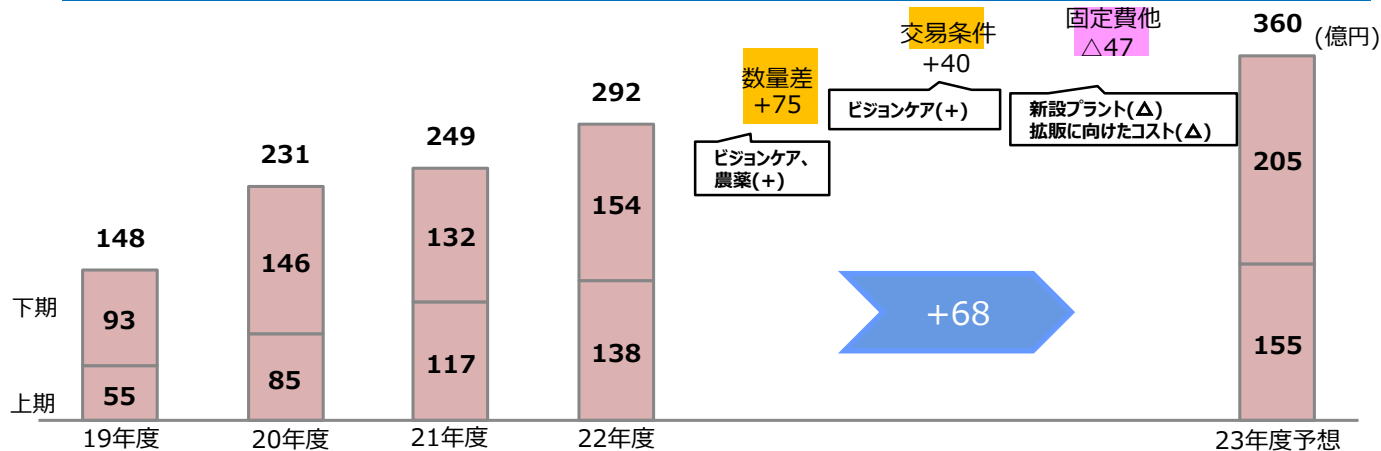
# 1 - 3) 業績予想の概要 (コア営業利益)

項目	内容	損益増減
数量	・ビジョンケア、農業は引続き販売堅調を見込む。	(+)
	・自動車用途回復、太陽電池封止材等は販売堅調を見込む。	(+)
	・ポリオレフィン是需要回復に伴い販売数量増加を見込む。	(+)
	・その他全事業通じて下期の需要回復に伴い販売数量は増加を見込む。	(+)
交易条件	・用役コストや物流費を中心としたコスト上昇に伴う値上げ。	(+)
	・円安影響により交易条件改善。	(+)
	・22年度原料価格上昇に伴う在庫評価益の解消。	(△)
固定費他	・拡販や事業拡大に向けた人員増に伴う労務費増加。	(△)
	・資材費高騰による修繕費及び新事業・新製品開発等の資源投入によるコスト増加。	(△)
	・サーキュラーエコノミーへの対応強化、DX推進によるコスト増加。	(△)
	・事業構造改善による収益改善。	(+)



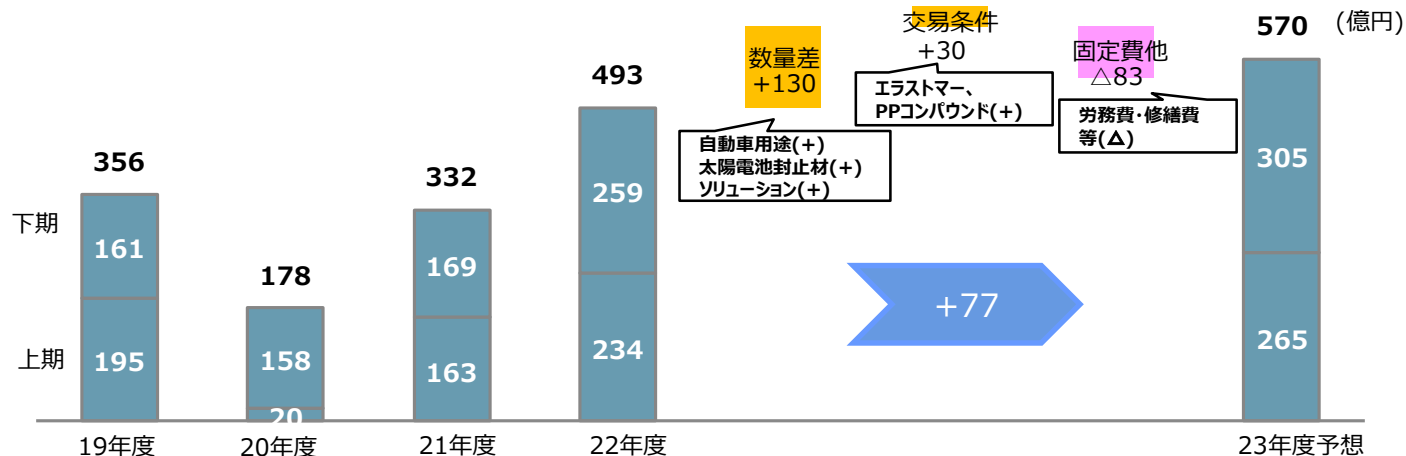
## 2-1) ライフ&ヘルスケア・ソリューション:コア営業利益増減/事業動向(対前年決算)

	23年度予想/事業動向	主要増減要因
ビジョンケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2Q以降販売は堅調に推移</li> <li>・22年度値上げによる交易改善</li> <li>・新設プラント稼働による固定費増(MR™)</li> </ul>	数量(+) 交易条件(+) 固定費(Δ)
不織布	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業統合により販売増</li> </ul>	数量(+)
オーラルケア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売は堅調に推移</li> <li>・拡販に向けた人員増加による労務費増</li> </ul>	数量(+) 固定費(Δ)
農薬	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売は堅調に推移</li> <li>・拡販に伴う登録維持費、試験費等の研究費増加</li> </ul>	数量(+) 交易条件(+) 固定費(Δ)



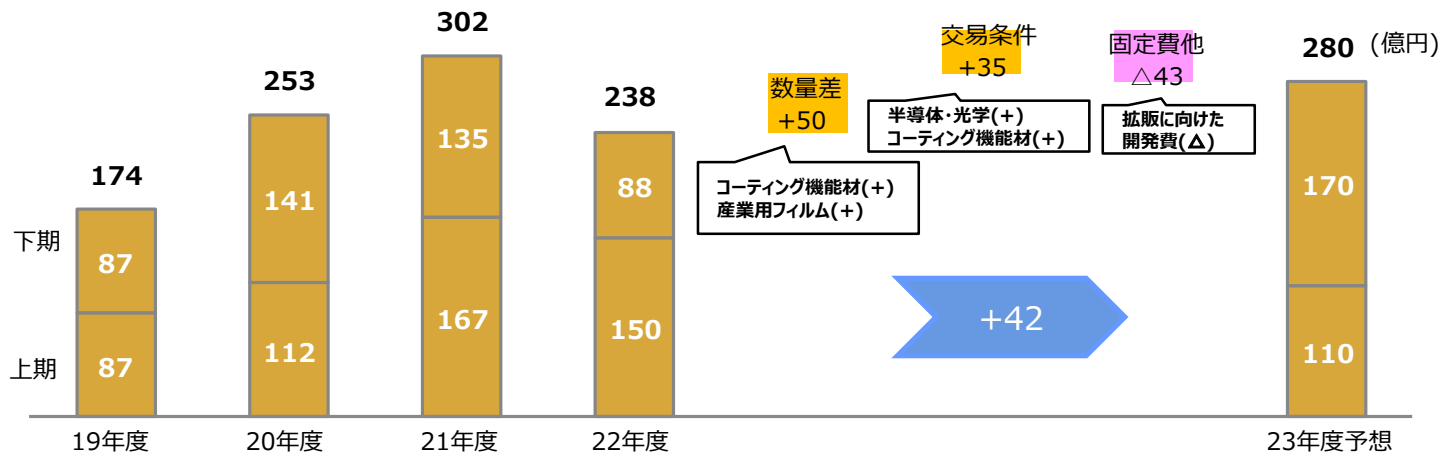
## 2-2) モビリティ・ソリューション:コア営業利益増減/事業動向(対前年決算)

	23年度予想/事業動向	主要増減要因
エラストマー	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車用途回復、太陽電池封止材等の需要堅調に伴う販売増</li> <li>価格改定及び為替差、高付加価値品へのシフトによる交易改善</li> <li>修繕費等の固定費増加</li> </ul>	数量(+) 交易条件(+) 持分法(△) 固定費(△)
複合材料 (PPコンパウンド 機能性コンパウンド)	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車用途回復に伴う販売増</li> <li>価格改定及び為替差により交易改善</li> <li>拡販に向けた人員増加による労務費増</li> </ul>	数量(+) 交易条件(+) 固定費(△)
ソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車市場回復に伴う受注増</li> <li>拡販に向けた人員増加による労務費増</li> </ul>	数量(+) 固定費(△)



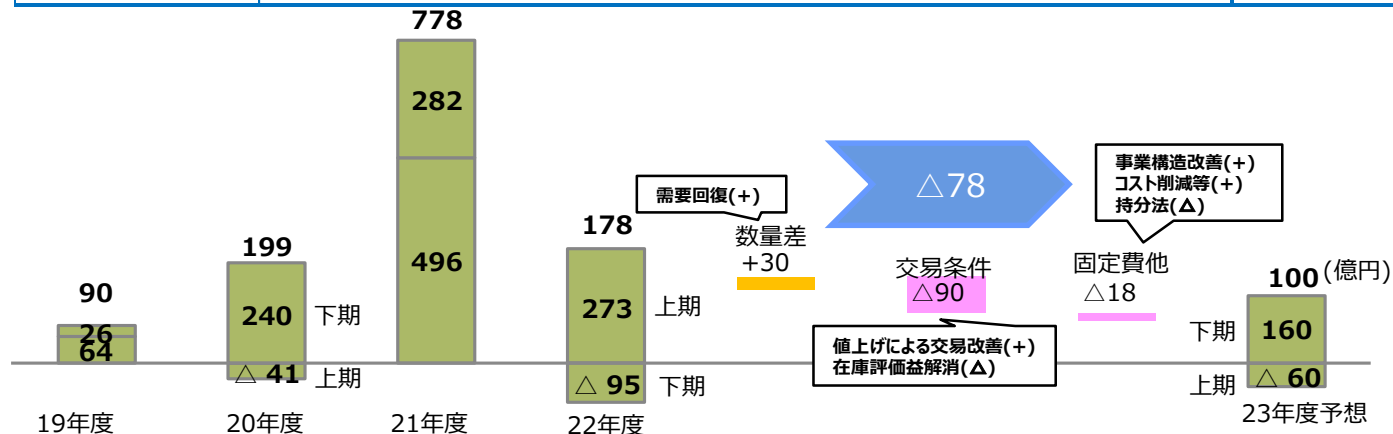
## 2-3) ICTソリューション: コア営業利益増減/事業動向(対前年決算)

	23年度予想/事業動向	主要増減要因
半導体・光学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EUVペリクルの販売は堅調に推移、ペリクル事業買収による増販</li> <li>・半導体及びスマートフォン市場鈍化の影響を受け販売は減少</li> <li>・拡販に向けた開発費等の増加</li> </ul>	固定費(△)
コーティング機能材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高付加価値製品の拡販</li> <li>・拡販に向けた開発費等の増加</li> </ul>	数量(+) 取引条件(+) 固定費(△)
産業用フィルム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下期半導体市場回復に伴い増販</li> </ul>	数量(+)



## 2-4) ベーシック&グリーン・マテリアルズ: コア営業利益増減/事業動向(対前年決算)

	23年度予想/事業動向	主要増減要因
石化	<ul style="list-style-type: none"> <li>下期以降需要回復に伴う販売数量増加</li> <li>値上げによる取引改善</li> <li>22年度原料価格上昇に伴う在庫評価益の解消</li> </ul>	数量(+) 取引条件(+) 在庫(Δ)
基礎化	<ul style="list-style-type: none"> <li>持分法投資損益の減少</li> <li>事業構造改善による収益改善</li> </ul>	取引条件(Δ) 持分法(Δ) 構造改善(+) 
ウレタン	<ul style="list-style-type: none"> <li>下期以降需要回復に伴う販売数量増加</li> <li>持分法投資損益の減少</li> </ul>	数量(+) 持分法(Δ)



### 3) セグメント別 コア営業利益増減 (1Q→2Q増減)

(単位：億円)

セグメント	23年度 コア営業利益			主要増減要因
	1Q	2Q予想	増減	
ライフ & ヘルスケア・ソリューション	45	110	65	ビジョンケア、農薬数量(+)
モビリティソリューション	123	142	19	数量(+)
ICTソリューション	52	58	6	半導体関連数量(+)
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	△4	△56	△52	交易条件(△) 修繕費等(△)
その他	△7	△3	4	
合計	209	251	42	
成長領域*	220	310	90	

\*ライフ&ヘルスケア、モビリティ、ICT



## 4) セグメント別 コア営業利益増減 (上期→下期増減)

(単位：億円)

セグメント	23年度 コア営業利益			主要増減要因
	上期予想	下期予想	増減	
ライフ & ヘルスケア・ソリューション	155	205	50	ビジョンケア、不織布、農薬数量(+) 固定費(Δ)
モビリティソリューション	265	305	40	需要回復に伴う数量(+) 交易条件(Δ)、固定費(Δ)
ICTソリューション	110	170	60	半導体関連数量(+) 固定費(Δ)
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	△ 60	160	220	需要回復に伴う数量(+) 交易条件(+)、在庫(+)
その他	△ 10	△ 50	△ 40	
合計	460	790	330	
成長領域*	530	680	150	

\*ライフ&amp;ヘルスケア、モビリティ、ICT

## 5) キャッシュ・フロー計算書の予想

(単位：億円)

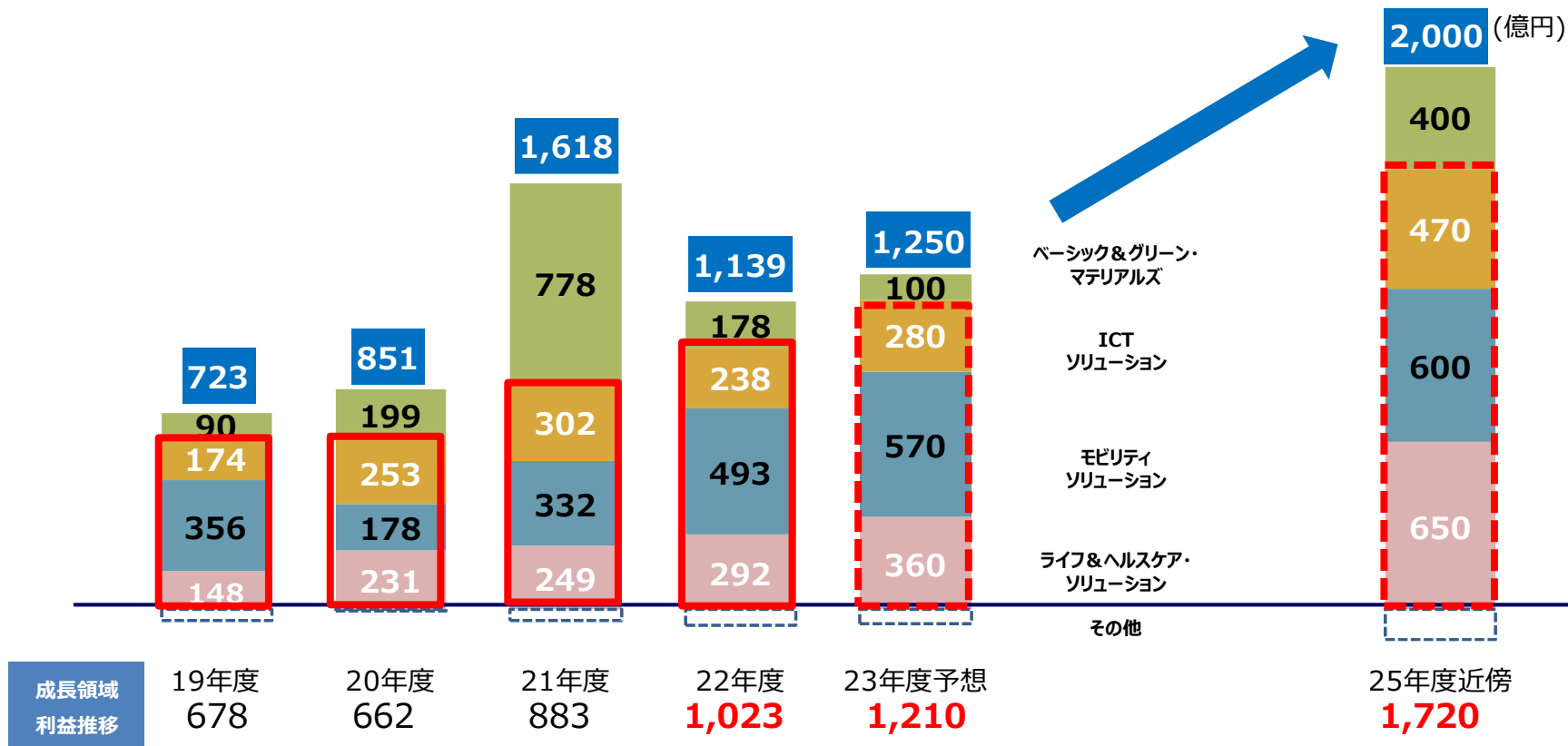
摘 要	22年度決算		23年度予想		増減 (b)-(a)	23年度 前回予想 (23.5.12発表)
	4-9月	年度(a)	4-9月	年度(b)		
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	219	1,012	560	1,410	398	1,530
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 140	△ 1,063	△ 550	△ 1,360	△ 297	△ 1,380
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	79	△ 51	10	50	101	150
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	55	25	△ 280	△ 80	△ 105	△ 230
IV. その他	137	77	80	80	3	0
現預金等増減	271	51	△ 190	50	△ 1	△ 80

## 3. 補助資料

---

- 1) セグメント別コア営業利益推移
- 2) 製品価格の状況
- 3) 売上収益の増減概要
- 4) セグメント別 売上収益/コア営業利益の内訳
- 5) セグメント情報
- 6) データハイライト

# 1) セグメント別コア営業利益推移



## 2) 製品価格の状況

(PE国内、PP国内、PH国内、BPA国内：国内価格改定幅)

年		2020年		2021年				2022年				2023年	
月		7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
国産標準 ナリ価格	(円/KL)	30,200	31,300	38,800	47,700	53,500	60,700	64,600	86,100	81,400	72,500	66,500	67,500
PE国内	(円/KG)	→	→	+20円 程度	→	+10円 程度	+30円 程度	+30円 程度	+15円 程度	△10円 程度	△15円 程度	△10円 程度	+8円 程度
PP国内	(円/KG)	→	→	+20円 程度	→	+10円 程度	+30円 程度	+30円 程度	+15円 程度	△10円 程度	△15円 程度	△10円 程度	+8円 程度
PH国内 (7オミリア価格)	(円/KG)	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
BZ (*ACP)	(\$/T)	\$440	\$490	\$720	\$930	\$1,030	\$970	\$1,030	\$1,230	\$1,120	\$880	\$930	\$940
BPA国内	(円/KG)	→	→	→	+60円 (4月~)	+35円 (9月~)	→	+20円 (3月~)	+32円(4月~) +38円(6月~)	→	△14円 (12月~)	△17円 (3月~)	+16円 (6月~)
BZ/BPA市況をベースに都度交渉													
BPA 中国市況	(\$/T)	\$1,290	\$1,990	\$2,630	\$3,230	\$3,320	\$2,480	\$2,340	\$2,060	\$1,580	\$1,450	\$1,300	\$1,250
PTA 中国市況	(\$/T)	\$440	\$450	\$600	\$660	\$710	\$700	\$830	\$950	\$840	\$760	\$780	\$800
PX (*ACP)	(\$/T)	\$550	\$560	\$770	\$860	\$920	\$890	\$1,090	\$1,260	\$1,090	\$980	\$1,030	\$1,030
TDI 中国市況	(\$/T)	\$1,580	\$2,330	\$2,150	\$2,040	\$1,900	\$2,200	\$2,610	\$2,770	\$2,320	\$2,410	\$2,430	\$2,190

\* ACP アジア圏契約価格

### 3-1) 売上収益の増減概要

#### ライフ&ヘルスケア

(単位: 億円)



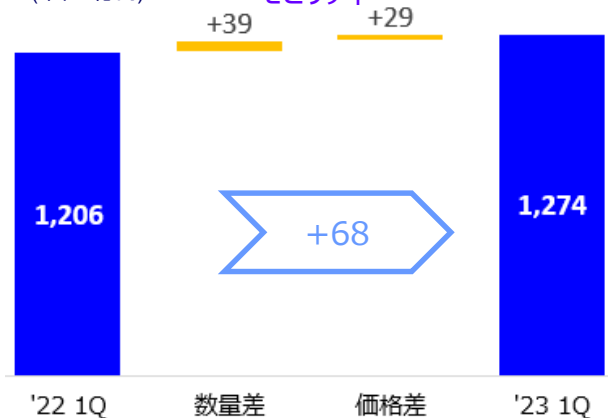
◆数量差  $\Delta 45$ 億円

・ビジョンケア材料及び不織布の販売は減少。

◆価格差  $+29$ 億円

(単位: 億円)

#### モビリティ



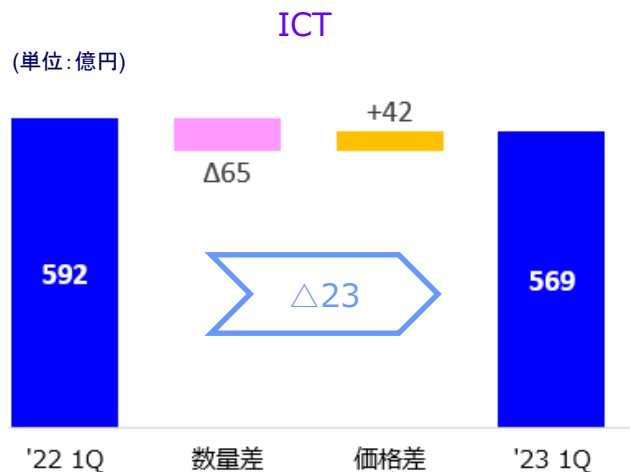
◆数量差  $+39$ 億円

・自動車用途、太陽電池封止材の販売は堅調。

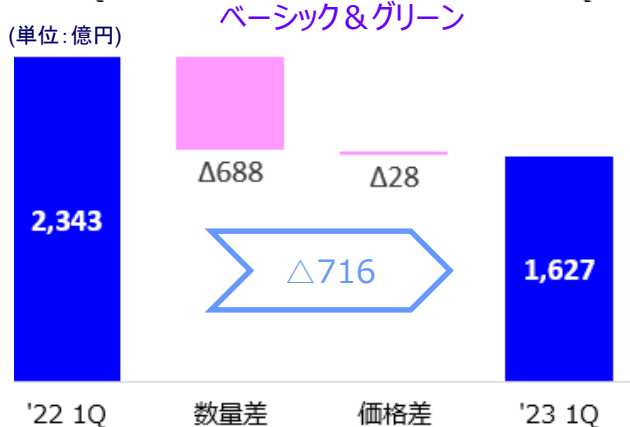
◆価格差  $+29$ 億円

・為替差等。

## 3-2) 売上収益の増減概要



- ◆数量差  $\Delta 65$  億円  
・半導体及びスマートフォン関連の販売は減少。
- ◆価格差 +42 億円  
・為替差等。



- ◆数量差  $\Delta 688$  億円  
・ポリオレフィン及びフェノール類の販売は減少。
- ◆価格差  $\Delta 28$  億円

## 4) セグメント別 売上収益/コア営業利益の内訳



(単位：億円)

セグメント	売上収益						
	22年度				23年度		
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月 予想	下期予想
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	587	634	647	714	571	719	1,590
モビリティソリューション	1,206	1,348	1,354	1,308	1,274	1,356	2,910
ICTソリューション	592	590	614	561	569	671	1,420
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	2,343	2,140	2,122	1,885	1,627	1,833	3,800
その他	33	38	41	38	38	42	80
合計	4,761	4,750	4,778	4,506	4,079	4,621	9,800

(単位：億円)

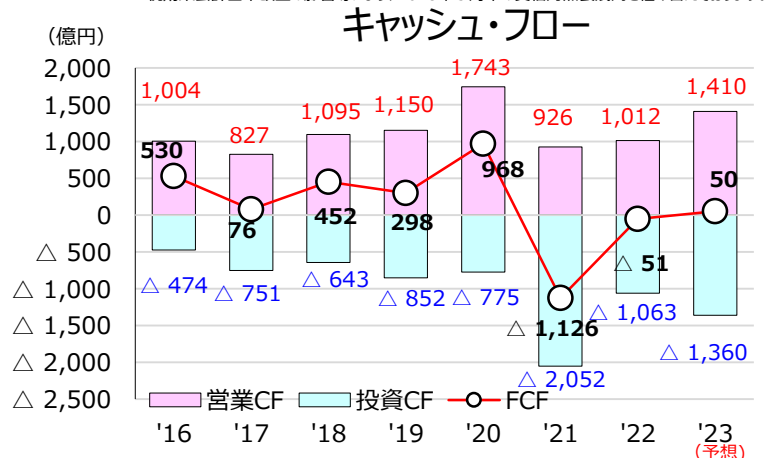
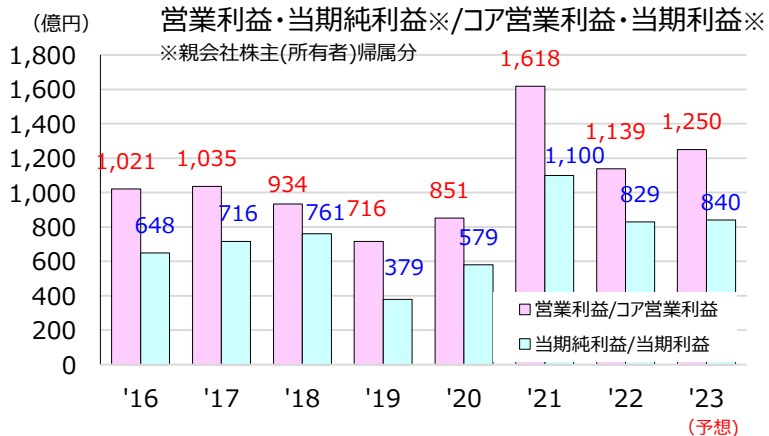
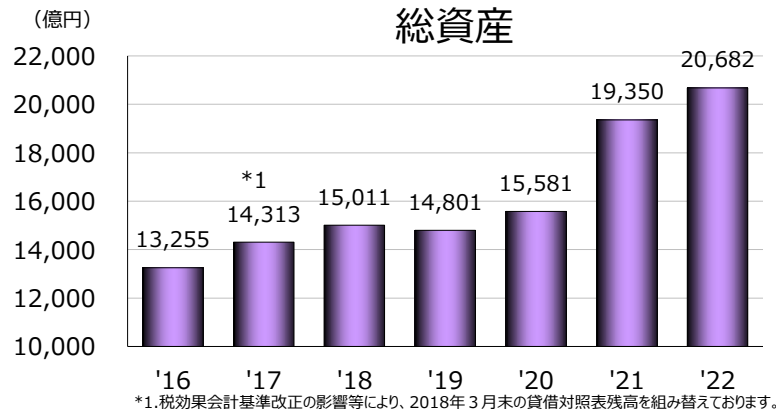
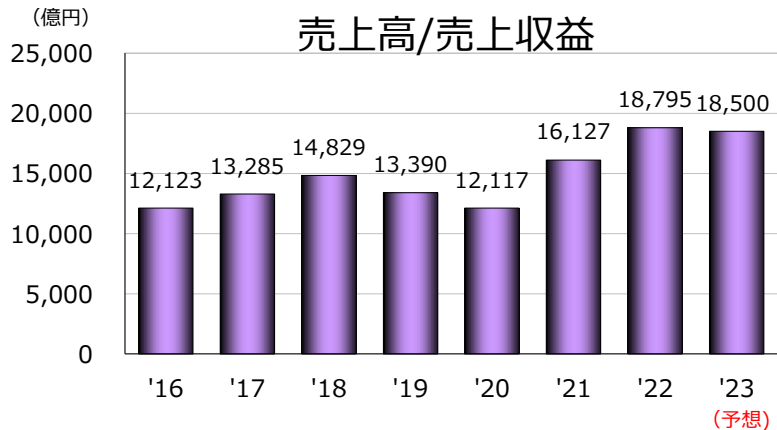
セグメント	コア営業利益						
	22年度				23年度		
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月 予想	下期予想
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	62	76	78	76	45	110	205
モビリティソリューション	95	139	155	104	123	142	305
ICTソリューション	92	58	80	8	52	58	170
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	208	65	25	△ 120	△ 4	△ 56	160
その他	△ 11	△ 8	△ 11	△ 32	△ 7	△ 3	△ 50
合計	446	330	327	36	209	251	790



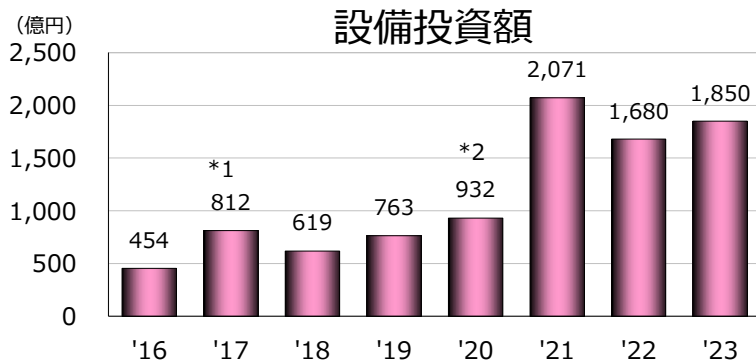
セグメント	事業分野	主な製品等
ライフ & ヘルスケア・ソリューション	ビジョンケア、パーソナルケア、不織布、オーラルケア、農薬、医療事業推進室	プラスチックメガネレンズ材料（MR™、Do Green™）、 医療材料（タウリン）、 不織布（シンテックス®、エアリア®、テクノロート®）、 オーラルケア材料（充填材料、接着材料、デジタル機器）、 農薬（ジノテフラン、テネベナール®）
モビリティソリューション	エラストマー重合、複合材料、ソリューション事業、モビリティソリューション事業推進室	タフマー®、三井EPT™、ルーカント®、 PPコンパウンド、機能性コンパウンド（アドマー®、ミラストマー®、アーレン®）  
ICTソリューション	半導体・光学、コーティング機能材、機能性フィルム・シート、ICT材料事業推進室	三井ペリクル™（ArF、KrF、EUV）、アベル®、TPX®、半導体用ガス 高機能食品包装材料（シーラント、接着剤、コート剤、環境対応包材）、 産業用フィルム（イクロステープ™、SP-PET™）、包装用フィルム（T.U.X®）
ベーシック & グリーン・マテリアルズ	フェノール、PTA・PET、インダストリアルケミカルズ、サステナブル・フィードストック、ポリオレフィン、ライセンス、ポリウレタン材料 グリーンケミカル事業	フェノール、ビスフェノールA、アセトン、PTA、PET、 EO、ハイドロキノン、アンモニア、排ガス低減剤（アドブルー®*）、 ポリオレフィン、TDI、MDI  *アドブルーはドイツ自動車工業会の登録商標です。

# 6-1) データハイライト

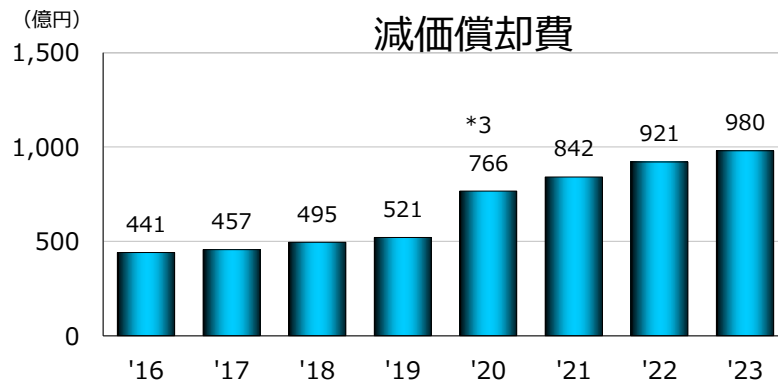
注) ~19年度：日本基準 / 20年度～：IFRS



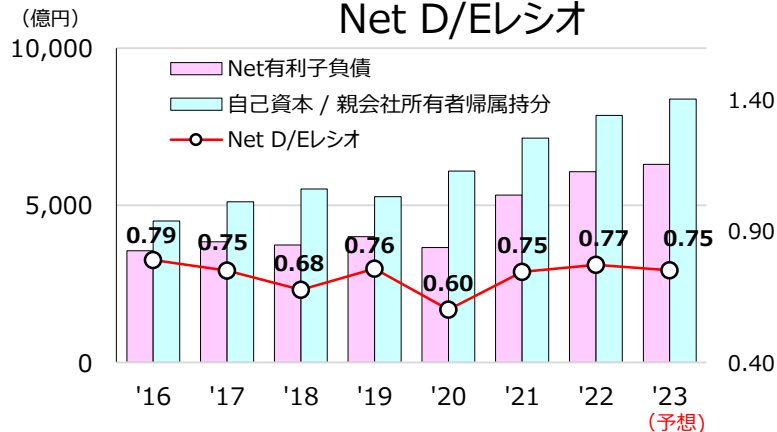
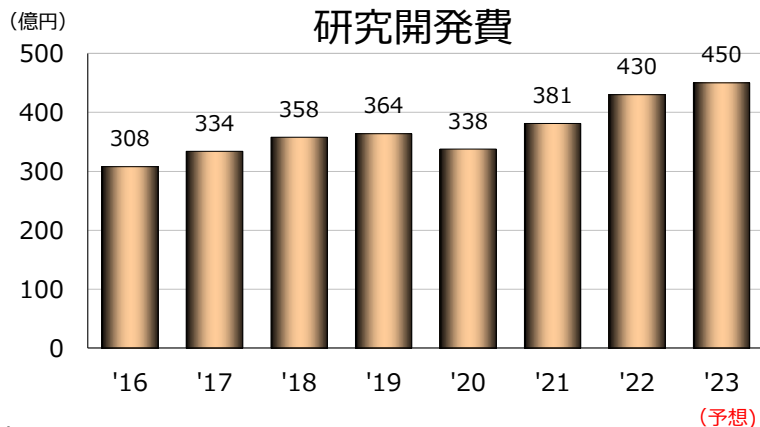
注) ~19年度：日本基準 / 20年度～：IFRS



- \*1. アーク社株式取得影響(239億円)を含む
- \*2. IFRS適用に伴う、定期修繕に係る費用等の取り扱い変更影響(設備投資額増加)を含む



- \*3. IFRS適用に伴う、定期修繕に係る費用等の取り扱い変更影響(減価償却費増加)を含む



未来が変わる。化学が変える。

Chemistry for Sustainable World



三井化学

*Challenge Diversity One Team*